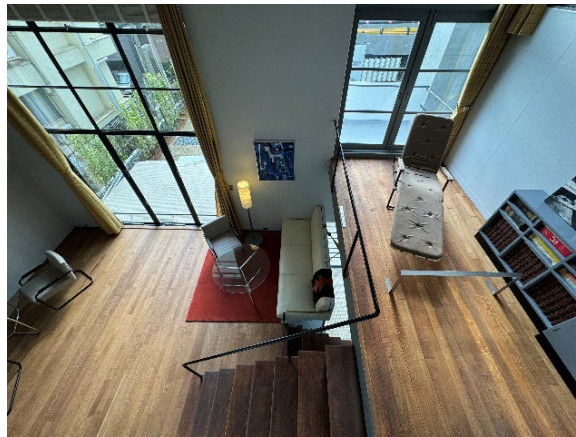


■みどころ・ききどころ

- ①音楽と建築で深く通じ合う6つの建築的視点について、
両者に共通する思考や感覚をわかりやすく立体的に体験していただけます。
- ②演者と聴者が対話する「対話型音楽鑑賞」を実施。対話を通して感性をひらきながら、
楽曲の背景や聴きどころ、建築とのつながりを体感できる豊かな機会を提供します。
- ③土浦亀城旧蔵の録音音源の曲目をセレクト。
土浦亀城が聴いていた音楽を土浦邸で味わうことを通して、住まいと芸術が重なる時間を体感いただけます。
土浦亀城の感性や思考、そして住宅建築でこそ育まれる暮らすような過ごし方に触れられる点も魅力です。



Photo © 土浦亀城アーカイブズ



■ 全回共通の開催概要

【時程】各回とも昼・夜の2部制。パンフレット・ポストカード付

①昼の部 開場 13:30/開演 14:00(~16:00 頃) ②夜の部 開場 18:30/開演 19:00 開演(~21:00 頃)

【定員】各回 20名 (会場都合により予告なく変更する場合がございます)

【料金】5,500円 (税込) /1名 (同時申込みは2名まで)

7/31(金)は昼・夜の部ともに小中学生親子優先チケット5組分販売：ペア 8,000円

【チケット】土浦亀城邸 Peatix より申し込み・チケット発売日は前ページの一覧の通り。先着順。

申し込み後のキャンセルは不可・Peatix 機能上の譲渡機能利用は可能

<https://tsuchiurakamekihouse.peatix.com/> (チケット販売リンクは各回記載)

【注意・お願い事項】

- ・土浦亀城邸は、元々個人住宅であること、更に文化財建築である都合上、ご参加に際しお願い事項がございます。予めご了承の上でのお申し込みをお願い申し上げます。
- ※当日は土浦邸内の見学時間はございません。入口とお席のご利用のみを基本とさせていただきます。
- ※バリアフリー仕様ではございません。車椅子・杖の仕様は不可、未就学児の参加はご遠慮ください。
- ※入邸にあたり注意事項を併せてお願いを申し上げます。[こちらをご覧ください。](#)
- ※日程等は予告なく変更されることがあります。

■総合監修・ナビゲーター 久保田慶一

東京藝術大学大学院修士課程修了。音楽学博士（東京藝術大学大学院）。フライブルク大学、ハンブルク大学、ベルリン自由大学に留学。東京学芸大学教授、国立音楽大学教授・副学長、東京経済大学客員教授を経て、現在、日本大学大学院ならびに放送大学講師。専門は18世紀ドイツ音楽史。『バッハ』（音楽之友社、2021年）他、著書多数。



■ 各回のテーマと演奏者プロフィール

□ 5月29日（金）「構造としてのバロック音楽」

J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集第1巻より「前奏曲とフーガ ハ長調」

同上：リュート組曲 ホ短調(BWV996)

同上：フランス組曲第5番

F.クーラン：ヴェルヌイユ「クラヴサン曲集」より 他

<https://tsuchiurakameki-concert01.peatix.com> (4/20頃 OPEN 予定)

岡田龍之介(cem.)

慶應義塾大学、東京藝術大学卒業、藝大大学院修了。

チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。全国各地で演奏活動を行い、国内外の優れたバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める。第13、23回山梨古楽コンクール審査員。ソロCD「銀色の響き」をはじめこれまでに12枚のCDをリリース。都留音楽祭講師(~2017)、洗足学園音楽大学講師(~2022)。

古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。FM 鴻巣「クラシックの散歩道」パーソナリティ。日本チェンバロ協会前会長。ザロモン室内管弦楽団指揮者。



□ 7月31日（金）「くつろぎとしての音楽」

クライスラー：愛の悲しみ

ドヴォルザーク：ソナチネ

ガーシュウィン：ポギーとベス（ハイフェッツ編）より「サマータイム」

ガーシュウィン：ポギーとベスより「そんなことはどうでもいいさ」

ディズニー作品より

ハーライン：星に願いを

メンケン：美女と野獣 他

<https://tsuchiurakameki-concert02.peatix.com> (6/15頃 OPEN 予定)

青木高志 (Vn.)

桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを江藤俊哉氏、ウィーンにてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター R.ホーネック氏に師事。第57回日本音楽コンクール入選。1990年から2015年まで東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターとして、1992年から2001年まで「モルゴーア・クアルテット」のメンバーとしても活躍した。

現在、国立音楽大学教授として後進の指導に力を注ぐと共に、

The Orchestra Japan コンサートマスターとしても活動を行っている。



弘中美枝子(Pf.)

桐朋女子高等学校音楽科卒業後、ジャンイヴ・ティボーデ氏の推薦により渡仏。マルメゾン国立音楽院およびパリ地方国立音楽院で研鑽を積み、プリ・ヴィルトゥオーゾ、ブルミエ・プリを取得。クロード・カーン・ピアノコンクール第1位ほか受賞。渡米後、アーティスト・プリゼンテーション・ソサエティ賞受賞。現在はミズーリ州立大学、ウェブスター大学でコラボラティブ・ピアニストおよび後進の指導にあたり、2022年にCD「Poésie～詩を奏でる」をリリース。



□ 9月16日(水) 「内面としてのロマン派：シューベルト」

F.シューベルト：歌曲「君がここにいたことを」(F.リュッケルト)

同：歌曲「ガニュメート」(J.W.v.ゲーテ)

同：歌曲「鱒」(C.F.D.シューバルト)

R.シューマン：『詩人の恋』より「君の目に見入ると」(H.ハイネ) 他

<https://tsuchiurakameki-concert03.peatix.com> (8/1 頃 OPEN 予定)



片野耕喜(T.)

東京学芸大学、東京芸術大学大学院独唱科、ハンブルク音楽院、ブレーメン芸術大学古楽科卒業。オラトリオの独唱を得意とし、なかでもシュッツ、バッハやテレマンなどの福音書記者役はドイツでも高い評価を受けてきた。ヨーロッパの多くの都市でも演奏。BCJと共演したバッハ《ヨハネ受難曲》などのほか、ドイツ歌曲ではシューベルト《水車屋の娘》《冬の旅》、シューマン《詩人の恋》《リーダークライス Op.39》などの録音がある。



小川加恵(Pf.)

東京藝術大学、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院修了。第16回ファン・ワセナール国際古楽コンクール(オランダ)第1位受賞。ヨーロッパの主要な古楽音楽祭に出演。国内外でソリスト、アンサンブル奏者として活躍。第8回浜松国際ピアノコンクールの関連事業への協力や、第31回国際古楽コンクール<山梨>では審査員を務めた。NHKをはじめメディアへの出演も多数。またメディアアーティストの落合陽一氏とともに古楽器とデジタルアートによるコラボレーションコンサートを行う等、新たな音楽体験事業の創出も手掛けている。オフィシャルウェブサイト：<https://www.kaeogawa.com>

□ 11月16日(月) 「色彩としての音楽」

F.プーランク：フルートとピアノのためのソナタ

A.F.ドップラー：ハンガリー田園幻想曲

O.メシアン：クロウタドリ

F.ボルヌ/G.ビゼー：「カルメン」による華麗なる幻想曲 他

<https://tsuchiurakameki-concert04.peatix.com> (10/1 頃 OPEN 予定)



岩下智子 (Fl.)

東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、ドイツ・デットモルト音楽大学を修了。第1回イタリア・トリエステ・ドゥイーノ国際音楽コンクール第2位。西日本新聞社賞、読売新聞社新人演奏会、東京文化会館新人推薦音楽会、日本演奏連盟新人演奏会に出演。ドイツ・ベーム国際フルートコンクールをはじめ、全日本学生音楽コンクール、仙台フルートコンクールなど国内外のコンクールの審査員を務める。CD「ゴッパールの世界」「フランスの香り」をリリース。NHK-FMにもたびたび出演。アジア・フルート連盟理事。現在、武蔵野音楽大学講師。

金井玲子(Pf.)

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学・同大学院修士課程を経て、ドイツ・ミュンヘン音楽大学を修了。第3回日本室内楽コンクール第1位。第17回ヴィットリオ・グイ国際室内楽コンクール第2位。東京藝術大学弦楽科伴奏助手及び室内学科合奏助手を歴任。各地の音楽祭に出演。現在、浦和大学教授、Artis Piano Ensembleメンバー。



□ 2027年1月14日（木）「均整として古典派：ハイドンとモーツァルト」

J.ハイドン：ピアノ・ソナタ 第50番 ニ長調

W.A.モーツァルト：幻想曲 ハ短調

同：きらきら星変奏曲 ハ長調

同：ピアノ・ソナタ 第5番 ト長調

L.v.ベートーヴェン：エリーゼのために イ短調 他

<https://tsuchiurakameki-concert05.peatix.com> (11/20頃 OPEN 予定)

小川加恵(Pf.) 9月16日記載のプロフィールを参照



□ 2027年3月12日（金）「素材としての打楽器」

新実徳英：マリンバのためにII

ヤニス・クセナキス：ルボンb

一柳慧：アレンジメンツ

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番より「アダージョ」（ビブラフォン）他

<https://tsuchiurakameki-concert06.peatix.com> (1/25頃 OPEN 予定)

悪原至(Perc.)

国立音楽大学卒業時に矢田部賞を受賞し、同大学院修士課程修了時には最優秀賞を受賞。ヤニス・クセナキスの研究により同大学院より博士号（音楽）を取得。打楽器の魅力を引き出すべく現代音楽の演奏も積極的に行っている。東京オペラシティ文化財団主催のリサイタルシリーズ「B→C」、NHK-FM「リサイタル・パッショ」に出演。第23回日本クラシック音楽コンクールなど、国内4つのコンクールで第1位を受賞。洗足学園音楽大学、国立音楽大学附属中学・高等学校非常勤講師。



■ 参考資料

土浦亀城邸の建築の特徴的な箇所のひとつに、「ギャラリー」と呼ばれていた中2階のスペースがあります。土浦亀城はこのスペースで電蓄で音楽を聴くことがこの住宅で過ごす楽しみのひとつだったようです。土浦邸は身の回りにあった生活用品も含めて残されていたことも特徴のひとつですが、そのうちのひとつとしてオープンリールテープと呼ばれる磁気録音テープがあります。

土浦亀城はオープンリールテープにラジオ放送から西洋音楽を録音しており、約150本が現存しています。ほぼすべてのオープンリールテープのケースの背表紙に曲名や演奏者名を、ケース内に音源について細かな情報を記載したメモを残しています。

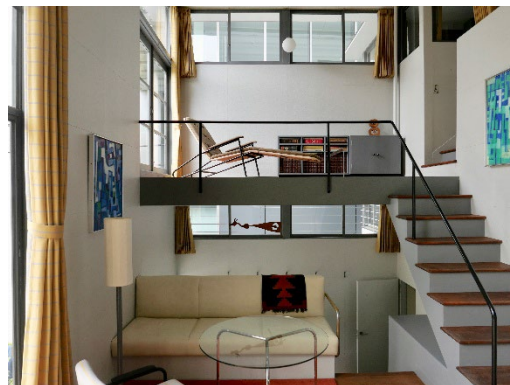
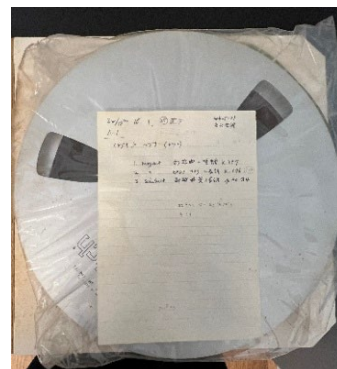
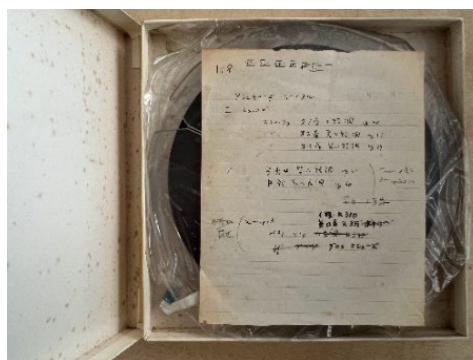


Photo © 土浦亀城アーカイブズ



■ 土浦亀城邸・概要

【所在地】東京都港区南青山 2-5-13

【原設計】土浦亀城・土浦信子
(1935年 品川区上大崎)

【復原・移築設計】安田アトリエ

【歴史考証】

東京科学大学山崎鯛介研究室 居住技術研究所

東京科学大学安田幸一研究室 (長沼徹,他)

【実測調査・実測図面・模型制作】

東京科学大学安田幸一研究室

【建築概要】地上2階・地下1階

建築面積 66.39 m²/延床面積 191.36 m²



Photo © Tomoyuki Kusunose

お問い合わせ先

(株)ピーオーリアルエステート 広報担当 中西由里香 (y_nakanishi@po-realestate.co.jp)